

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の暮らしに対する希望や想いの把握が不十分であると考え。そのため、日常生活の支援で、関わりの方角性が、利用者が希望するものとずれている部分が存在しているのではないかと考える。	利用者の暮らしに対する希望や想いを把握し、支援に繋げたい。	じっくりとゆっくりと関わらせていただき、利用者の想いを把握する。併せて、ご家族にも伺うことで、より具体的な把握を目指したい。引き続き、利用者の担当を決め、よりきめ細かい気遣いや情報収集を行い、その情報を職員間で共有する。	10ヶ月
2	2	地域との関わりについて、今後とも双方にとって有意義なお付き合いを継続して出来るようにしていくことが、途切れることのない課題であると考え。	地域の一員として、今後とも外に出る活動を行いたい。また、地域の方々にもこれまで以上に認知され、また、地域住民の仲間として感じていただけるようになりたい。	定期開催されている運営推進会議を始め、公民館活動にも、積極的に足を運ばせていただきたい。その他、地域交流会等を開催し、「ひまわり」に足を運んでいただける機会を設け、地域活動の活性化にも繋がる取り組みを進めていきたい。	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。